

公式記録

(一社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

令和5年度兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技

決勝 【 150 】

主審
署名

足立 正輝

日時	2023年6月11日(日) 11:02 キックオフ					会場	三木総合防災公園陸上競技場													
天候	雨	微風	天然芝・人工芝・クレー			状態	良好	試合形式	70分 / 延長 20分 / PK戦有											
運営責任者	笠原 弘樹		会場主任	石塚 俊一		記録	芝切 淳 / 後藤 大輔		観衆	940人										
主審	足立 正輝		副審1	谷 淳平		副審2	福島 僚太		第4の審判員	大槻 隼人										
チーム名	神戸弘陵学園高校					1	前半	0	後半	0	kick off	相生学院高校								
							延前		延後											
							PK戦		PK戦											
交代	シュート					選手名(学年)	番号	位置	位置	番号	選手名(学年)	シュート					交代			
No.	OUT時間	延後	延前	後半	前半							前半	後半	延前	延後	OUT時間	No.			
	分					石橋 亮斗 3年	1	GK	GK	17	釜田 統生 2年					分				
	分					阪上 聖恩 2年	26	DF	DF	2	村上 大虎 2年					70分				
	分					柴尾 美那 3年	3	DF	DF	22	長嶋 志歩 2年					分				
	分					岡 未来 3年	4	DF	DF	4	日高 吏都 3年					分				
	分			1		三輪 桜大 3年	5	MF	DF	12	児玉 晴輝 2年		1			64分				
	分				1	大井 孝輔 3年	7	MF	MF	5	高本 幹大 2年					分				
	分				1	有園 依咲樹 3年	11	MF	MF	6	角山 壮大 2年					分				
68分						石橋 瀬凧 2年	24	MF	MF	16	杉浦 煌仁 2年					40分				
				2	3	北藤 朔 3年	10	MF	MF	10	河本 大雅 2年					分				
64分					1*	佐波 昂大 3年	8	FW	MF	19	山崎 徹也 2年					40分				
				3	2	馬場 悠平 3年	9	FW	FW	9	池内 颯海 2年	1	1			58分				
						歌野 裕大 2年	12	GK	GK	1	木村 匠斗 3年					分				
						豆成 僚 3年	2	DF	DF	3	牧野 真那斗 2年					分	12			
						松井 君弥 3年	14	DF	DF	24	佐々木 琉 1年					分				
						藤本 達真 2年	27	DF	DF	25	櫻田 蓮 2年					分				
						十河 快斗 3年	6	MF	MF	7	宮城 丸 1年					分	16			
24分				1		江崎 有佑 3年	13	MF	MF	13	知名 禅太 1年					分	2			
						中邑 蕾羽 2年	28	MF	MF	14	中村 和 2年					分	9			
8分						高橋 奏多 3年	20	FW	MF	23	樋口 鈴 3年					分	19			
						下醉尾 朔也 2年	23	FW	FW	18	町田 頼武 2年					分				
時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
63分	警	7	大井 孝輔	ラフ	15			7	8	シュート	1	2			3	分				
					6			3	3	GK	5	5			10	分				
					3			3	0	CK	3	2			5	分				
					7			1	6	直接FK	2	4			6	分				
					1			1	0	間接FK	2	0			2	分				
					0			0	0	PK	0	0			0	分				

[警告事由] 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去

[退場事由] 不正・乱暴・つば・阻手・阻(他)・侮辱・警2

得点経過	時間	チーム	No.	得点者	スコア	[得点経過] 略号例: ドリブル~・ゴロのパス→・浮き球○・混戦×・ヘディングH・シュートS
	35分	神戸弘陵	8	佐波	1-0	中央 10 → 9 → 8 ~ S
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	
	分				-	

戦評者 所属【 神戸科技/芦屋 】 氏名【 谷/上野 】

神戸弘陵4-2-3-1、相生学院4-2-3-1でゲームスタート。両チーム、相手の出方を伺う入り方になり、ミドルゾーンでの攻防が中心になった。その中で神戸弘陵は、回収したボールを9馬場、10北藤に預け、個の突破から決定機を作るも決め切れない。相生学院も相手のスタイルに対応し、やや低い位置でコンパクトにブロックを形成し、奪ったボールを9池内、10河本に集めてゴールを狙う。神戸弘陵は4分、12分、14分と立て続けに決定機をつくもゴールポストに阻まれ得点できない。このまま前半終了かと思われた35分、左サイド10北藤の効果的なワンタッチパスでDFラインの崩し、9馬場のパスを受けた8佐波がゴールを決め、神戸弘陵が1点リードして前半を終了する。後半に入り神戸弘陵は前線からプレスをかけ相生学院にプレッシャーを与える。40分24石橋のドリブル突破から折り返し、9馬場がワンタッチでシュートを狙うも枠をとらえきれない。対する相生学院も両サイドハーフにボールが入ると個人技を活かした突破からCKを多く獲得しチャンスをつくり神戸弘陵ゴールに迫る。さらに7宮城を投入しワントップに据え前線に5人を配置し攻勢に出るも、神戸弘陵の10北藤のドリブルに苦戦し決定機を多く作られ1-0で試合終了。1、2年中心のチーム編成で神戸弘陵と渡り合った相生学院の今後に期待するとともに、神戸弘陵には兵庫県代表として全国大会での活躍を願う。

[備考]